

一 (聞き取り問題) 放送は、試験開始二分後に始まるので、それまでに後の問いを読んでおきなさい。

問1 世界の漁獲資源の割合を示した図1の①、②、③にあてはまる内容として最も適切なものを次のア～エから一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ア 適正利用状態の資源 イ 過剰利用状態の資源 ウ 利用に余裕がある資源 エ 養殖利用できる資源

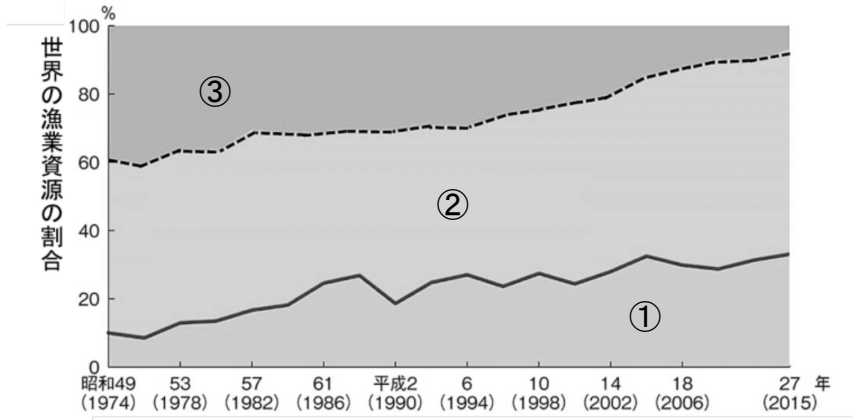


図1 世界の漁業資源の推移 (FAO「世界漁業・養殖業白書2018」から水産庁が作成したグラフを加工)



図2 第三者機関が環境への負荷低減を認証するラベルの例 ※ 全て白黒で表示している。

問2 この文章では適切な漁業を認証する団体について述べられています。文中で具体的な認証の手続きが示されている団体のラベルを図2のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

問3 認証審査の合格の条件について、以下のようにとまとめた。①～③に入る数字を答えなさい(漢数字でも算用数字でも構いません)。

- ・大きく(①)項目に分けて、得点化される。
- ・認証を取得する条件は以下の通り。
- ・「無条件の認証取得」大原則の平均点が(②)点以上。
- ・「条件付認証取得」各項目のうち(②)点に満たない項目があるが、決められた期限内に改善できるように取り組む。
- ・「不合格」(③)点未満の項目が一つでもある。

問4 持続可能な漁業のためには客観的なデータに基づく予防的な管理が必要である。その理由を、専門家はどのように述べているか。最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア データがないと漁ができる期間が決められないから。
イ 法律によって資源の管理方法として定められたから。
ウ 漁獲を管理する電子的システムの開発に必要だから。
エ 海の中の資源は見えないため、確実性に欠けるから。

問5 この文章の中で持続可能な漁業を行う対策として述べられていたものを次のア～オから全て選び、記号で答えなさい。

- ア どの水域にどれだけの魚がいるかを調べる。
イ 豊かな海を守るために沿岸域を保全する。
ウ 資源が維持できる漁獲の上限を決める。
エ 適切な漁業と認証された商品を購入する。
オ 乱獲によって海の生態系を破壊しない。

※スクリーンは次の資料を元に作成しました。著作権の関係により、掲載はできません。

「はてな？スコープ 持続可能な漁業へ」(2020年2月1日朝日新聞土曜版)

「MSC 漁業認証 取得ガイド」(<https://www.msc.org/jp/forbusinessesjp/fisheryJP/guideJP>)

二 次の各問いに答えなさい。

問 1 次の文に関する後の問いに答えなさい。

学校の図書室にはたくさんの本が ^①ある。彼は高校2年生で、 ^②すでに半数以上の本を読み終えた ^③そうだ。

(1) — 部①の主語として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 学校の イ 図書室には ウ 本が エ 彼は

(2) — 部②が修飾する語として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 高校2年生で イ 半数以上の ウ 本を エ 読み終えた

(3) — 部③と同じ働きをしている語として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 今にも雨が降りそうだ。 イ 彼はアメリカに住んでいたそうだ。

ウ 今日の朝食は美味しそうだ。 エ ソファに居る子猫が眠りそうだ。

問 2 — 部の敬語の使い方として正しいものには○を記入し、誤っているものは正しい使い方に直しなさい。

(1) デザートは後で ^①お持ちしますので、先にお食事を ^②いただいでください。

(2) 校長先生は今年のオリンピックを ^③拝見しましたか。

問 3 次のうち、反対の意味を持つことわざ、故事成語の組み合わせとして最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 臨機応変 ー 急がば回れ イ 鬼に金棒 ー 虎の威を借る狐

ウ 一石二鳥 ー 虻蜂取らず エ 濡れ手で粟 ー 暖簾に腕押し

問 4 次の三つの□に共通する漢字を次のア～カから一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

(1) 実□ ・ □設 ・ □策 (2) 熟□ ・ □立 ・ □就 (3) □案 ・ 思□ ・ 参□

ア 画 イ 行 ウ 成 エ 施 オ 原 カ 考

三 次の文章は内田百閒「とおぼえ」の一節で、「僕」は友人を見舞って帰る夜、四ツ辻(十字路のこと)を過ぎたところで明かりのついた店に入る。店の亭主(「おやじ」)は応対をしてくれるが、どこか不安な面持ちでこちらを見ている。聞けば「ちいさな犬」が遠吠えをする晩はそれは嫌な気配がするのだと言う…文章はそれに続く場面である。文章を読んで、後の問いに答えなさい(ただし、設問の都合で本文を一部変更しています)。

※この問題は、著作権の関係により掲載ができません。

(注)

※1 焼酎甕

焼酎(酒の一種)が入った貯蔵用の容器。

※3 亭主

ここでは女の夫を指す。

※5 家内

自分の妻。

※7 紙入れ

紙幣を入れて持ち歩くもの。財布。

※2 土間

家屋内の床板を敷かない空間。

※4 呑み助

酒をよく飲む人。

※6 氣勢

動く気配、そぶりのこと。

※8 上り框

玄関や土間で内と外を分ける段差のこと。

問1 部 a ～ e について、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで答えなさい。

問2 部 (1) ～ (3) の文中の意味として最も適切なものを次のア～エから一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

- | | | | | |
|------------|---------|-----------|----------|-------------|
| (1) 「影の薄い」 | ア 暗い雰囲気 | イ 不穏な気配 | ウ じめじめした | エ 印象が弱い |
| (2) 「身持ちの」 | ア 品行方正な | イ 異性と交際した | ウ 妊娠した | エ 日ごろの行いが悪い |
| (3) 「挙げ句に」 | ア その結果 | イ その上 | ウ とたんに | エ 報いとして |

問3 【A】【B】にあてはまる語の組み合わせとして最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- | | | | |
|----------|--------|----------|--------|
| ア A ちらちら | B ことごと | イ A しげしげ | B がたがた |
| ウ A ぎらぎら | B どんどん | エ A じろじろ | B からから |

問4 次の【 】の文があてはまる最も適切な場所を本文の W ～ Z から一つ選び、記号で答えなさい。

【ろくでもない事が頻りに頭の中を掠める。焼酎はもううまくない。】

問5 次のア～ウの語句があてはまる最も適切な場所を本文の (I) ～ (III) から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- | | | |
|-------------|------------|--------------|
| ア 頭から水をかぶった | イ 半分ほどになった | ウ じつとしていられない |
|-------------|------------|--------------|

問6 部①「気のない声で言った」とあるが、「おやじ」がそのような態度をとる理由として適切でないものを次のア～オから二つ選び、記号で答えなさい。

- | |
|-------------------------------|
| ア 話の途中で無遠慮に話しかけてきた女に怒っているから。 |
| イ 犬の遠吠えの不吉さに気をのまれてしまっているから。 |
| ウ 女が酒を飲ませている相手のことを考えられなかったから。 |
| エ 女にもう他の男性の気配があることを嫌悪しているから。 |
| オ 茶の間にいる死んだはずの家内のことが気になるから。 |

問7 部②「いろんなものが家の中に残って居る」とは、どのようなことか。その説明として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- | |
|---------------------------------------|
| ア 家内が使っていた家財道具などの遺品が、まだ家に残されているということ。 |
| イ 家内が急に亡くなったばかりなので家の中が片付けられていないということ。 |
| ウ 家の中には家内との思い出が残っており、つい思い出してしまうということ。 |
| エ 家の中に亡くなったはずの家内の幽霊や不穏な気配が感じられるということ。 |

問8 部③「にじり寄る様な、しかし逃げ腰に構えた様なあいまいな様子」とあるが、ここで表現されている「おやじ」の心情として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- | |
|---|
| ア 「僕」が帰って一人とり残されてしまうことと、「僕」が墓地へ帰るのではないかという二つの不安が同居している。 |
| イ 「僕」も死人ではないかという疑いに決着を付けたい気持ちと、「僕」の正体を知ることへの恐れとが均衡している。 |
| ウ 「僕」に対して何とか支払いを請求しようという気持ちと、不気味な犬の遠吠えに対する怯えとが入り混じっている。 |
| エ 「僕」の正体を知りたいという好奇心と、茶の間から感じる不穏な気配から逃げ出したい気持ちとで揺れ動いている。 |

問9 本作品に描かれている「恐怖」とその表現について生徒たちがそれぞれ鑑賞を述べ合っている。解釈として明らかに誤りを含む生徒の鑑賞を次のA～Dから一つ選び、記号で答えなさい。

- | |
|---|
| 生徒A 「僕」自身が実は幽霊だったという恐怖を描いていると見るべきだ。その結末が最後に明らかになるように構成が工夫されていて、店主や女の不気味な話も「僕」が幽霊だとして読み返すと筋道が通るようにできているよ。 |
| 生徒B 恐怖を演出する装置として「日本家屋」の特徴が用いられているわ。障子は空間をあいまいに仕切るもので、一枚隔てた向こうには何か潜んでいるかもしれない…、そうした恐怖に障子が開いて改めて気づかされるのね。 |
| 生徒C 自分の存在が段々と不確かになっていく恐怖―その為に「…の様な」「…気がする」を多用して「僕」自身の実感の希薄さを表現している。最後の「そうだよ」では完全に生者としての「僕」が揺らいでしまっているわけだ。 |
| 生徒D 遠吠えの響く不思議な「空間」そのものが恐怖を演出している。四ツ辻は生者と死者の世界が交わる象徴的な場所なんだ。だから、迷い込んだ「僕」自身も店主も女も生者か死者かがあいまいに描かれていると考えられるよ。 |

四 次の文章はアリス・ロバーツ「飼いならす 世界を変えた10種の動植物」(斉藤隆央訳)の一部である。文章を読んで後の問いに答えなさい(ただし設問の都合で本文を一部変更しています)。

※この問題は、著作権の関係により掲載できません。

- (注)
- ※1 野生種
 - ※2 ヴィクトリア朝
 - ※3 陶冶
 - ※4 亜種
 - ※5 選択圧
 - ※6 不良実生
- 野生の生物種のこと。ここでいう種とは、動植物を分類する上での基本単位のこと。
 十九世紀後半のヴィクトリア女王がイギリスを統治していた時期。
 よりよいものを作りあげる。
 ある種類と似ていながら少し違いのあるもの。
 実際に生存率に差をもたらす自然環境の力。
 種子から発芽して育った幼植物で、状態のよくないもの。

問1 部 a～d について、カタカナは漢字に直し、漢字はその読みをひらがなで答えなさい。

問2 A C に入る言葉を文中より抜き出し、それぞれ指示された文字数で答えなさい。

問3 部①「世界をただありのままに受け止めていたのだ」とあるが、この表現を説明した次の文の I ～ III に当てはまる最も適切な言葉を、文中から抜き出して答えなさい。

I (二字) の動植物を II (四字) し、自分たちでは III (四字) を行っていないということ。

問4 部②「このゆるやかな導入は、単なる修辭的な手段ではなかった」とはどういうことか。最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア ダーウィンが変化の過程で時たま異なる系統や亜種が生まれると説明したのは、本論での主張を一般論と区別するための手法ではなかった、ということ。
- イ ダーウィンが変化の過程で時たま異なる系統や亜種が生まれると説明したのは、本論の主張を読者に伝わりやすくするための導入ではなかった、ということ。
- ウ ダーウィンがヒトの影響の元で進化している種の例を論の冒頭で語ったのは、ただ文章を構成する上での一般的な記述の方法に則っただけではなかった、ということ。
- エ ダーウィンがヒトの影響の元で進化している種の例を論の冒頭で語ったのは、一般の読者を惹きつけるための洗練された文章構成上の技巧ではなかった、ということ。

問5 ———部③「この花の変化」とあるが、変化はなぜ起こったのか。その理由として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア ミツバチが選りやすい花が結果的に残ったから。
- イ ヒトが香りを楽しめる花が積極的に栽培されたから。
- ウ 花粉媒介動物同士が共生するために、花が環境により適応したから。
- エ ヒトが大量の蜂蜜を採取するために、適した花ばかりを選抜したから。

問6 ———部④「負の選択」とあるが、これはどういうことか。その説明として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 動植物の「不良実生」を淘汰すること。
- イ 生産性が高い特定の動植物を残すこと。
- ウ 複数の優良な動植物を淘汰すること。
- エ 「不良実生」の動植物を繁殖させること。

問7 この文章の説明として最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア この文章は、狩猟採集民が牧畜・農耕を始め、文明を築き上げていく過程を紹介している。
- イ この文章は、『種の起源』について自然保護の立場から論じ、その真偽を分析している。
- ウ この文章は、様々な生物の変化の過程を、参考となる説や具体的な例を多用して説明している。
- エ この文章は、『種の起源』のダーウインの説明を捉え直し、生物進化論を改めて解説している。

問8 各段落の説明として適切でないものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 4段落の「爆弾」や「頂上からの眺め」という表現は、ダーウインの新説が反響を呼ぶことを暗示している。
- イ 5段落では『種の起源』の序章におけるダーウインの説明を順序立てて解説することで、読者の理解を促している。
- ウ 8段落の「だろうか？」などの断定を避けた表現は、筆者の述べる意見が推測の域を出ないことを示している。
- エ 9段落では『種の起源』を引用することで、筆者の「ヒトの媒介による自然選択」についての指摘を補強している。